

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 078	提案機関名 神奈川県農協中央会
要望問題名 特色ある新たな農産物の創出	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 県内の各農業協同組合では、ファーマーズマーケットや市場出荷を通じて、消費者に新鮮な、あるいは、特色ある農産物の提供に努めているが、販売額は伸び悩んでいる状況にある。 もとより、本県の農業は狭い農地を有効に活用した経営を進めており、規模拡大による低コスト化は厳しい状況にある。更に、今後は産地間競争の激化も想定されるところであり、県内生産者の経営向上を図るための技術開発が求められている。 そこで、神奈川県あるいは、各地域オリジナルで、圧倒的な特色のある農産物や加工品など、付加価値の高い新たな農産物の創出をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部野菜作物研究課 生産環境部品質機能研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	1 野菜類に新品種育成、優良種苗の特性検定試験、野菜類における安定生産技術の開発 2 県産農産物の品質特性の解明(加工適性評価及び加工品開発支援)		
対応の内容等	ご指摘のとおり、オリジナル農産物の創出は地産地消を推進する上で重要な課題と考えられます。当所では、これまでネギ品種「湘南一本」を始め、新規性に富む特徴的な品種育成を進めてきました。昨年度命名されたトマト「湘南ポモロン・シリーズ」については、プロジェクトチームが結成され、貴連合会を含め種々団体の協力をいただいて試作を実施しているところです。また、「津久井在来」、「相模半白」及び「弥一」等、当所で長年、保存・維持している遺伝資源等の中から、地域での取り組みの核となっている種苗を提供することができました。 今後も、特徴的な本県オリジナル品種の育成、遺伝資源等の収集・維持・増殖を継続し、地産地消の推進につながる農産物の創出に取り組みます。現地で特色ある農産物等ありましたら、情報提供等ご協力をお願いします。 加工品については、上記2の課題の中で、当所育成品種などの品質評価、加工適性評価ならびに加工品開発を行っており、情報提供を行います。また、農産加工オープンラボで共同開発が行えますので、ご相談ください。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			